

令和8年度 一般会計予算等を審査

一般会計予算を可決

1 予算関係議案の提案

2月10日開催の本会議において、市長から令和8年度の市政運営に対する所信と施策概要の説明が行われ、一般会計予算、6特別会計予算など、令和8年度予算関係議案16件の提案がされました。

主な内容は次のとおりです。

(予算総額)

一般会計および6特別会計の合計／1435億2391万3千円(前年度比6.5%の増)

(各予算規模)

一般会計／860億2440万円(前年度比6.2%の増)

特別会計／大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業および下水道事業(公営企業会計)の6特別会計合計で、574億9951万3千円(前年度比6.8%の増)

2 一般会計予算等審査特別委員会(予算特別委員会)の設置

2月19日開催の本会議において、予算関係議案16件に対する各会派からの代表質問および無所属議員による総括質問を終えました。その後、予算関係議案は、令和8年度の市政を決定する重要な案件であり、議会の立場から十分なる審査・検討を加える必要があることから、特別委員会設置の動議により8名の委員からなる令和8年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会(以下「予算特別委員会」という。)を設置し、予算関係議案16件の審査を付託しました。

3 予算特別委員会で審査

予算特別委員会では、3月6日、9日、10日、12日、13日および16日に、付託された予算関係議案について、市長が所信表明で述べている予算の内容はどのようなものか、限られた財源の中で、鎌倉市総合計画の基本構想「鎌倉ビジョン2034」、基本計画「鎌倉ミライ共創プラン2030」に位置付けられた諸事業をはじめ、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策がどのように予算に反映されているかといった観点から担当原局に対し質疑を行いました。

また、3月16日には、市長に質疑を行い、村岡新駅と深沢まちづくり一体開発について見解をたしました。

4 予算特別委員会で採決

付託を受けた令和8年度一般会計予算など16議案の採決を行いました。

その結果、一般会計予算、大船駅東口市街地再開発事業など6特別会計予算および9件の条例議案について、それぞれ原案のとおり可決しました。

一般会計予算等審査特別委員会委員(議席順)

委員長	志田 一宏 (自民党・無所属の会)
副委員長	小野田 康成 (夢みらい鎌倉)
委員	大石 香 (鎌倉前進の会)
	水上 武史 (公明党鎌倉市議会議員団)
	重黒木 優平 (公正と法)
	中村 てつや (立憲民主党鎌倉市議会議員団)
	吉岡 和江 (日本共産党鎌倉市議会議員団)
	森 功一 (自民党・無所属の会)

5 審査結果の報告

3月23日開催の本会議において、予算特別委員長から審査結果が報告され、次の意見が付けられました。

① 防災対策について

地域によって自主防災組織の活動水準や体制に大きな格差が生じている現状は、防災力の低下につながることから、地域課題の把握や活動環境の整備を行うとともに、防災士資格取得の支援や災害時の広報手段としてSNSの活用など、実効性ある防災対策の充実を求める。

② 観光施策について

オーバーツーリズム対策は喫緊の課題であることから、市と観光協会の協働により取り組み、市民と観光客の双方にとってより良い観光施策の推進を図るとともに、トイレ協力店に対し、維持管理に係る財政援助を行うなどにより、環境整備を図り、持続的な観光施策の実施を求める。

③ 市内の交通について

住み慣れた地域で自立して暮らし続けられるよう、地域特性に応じた多様な交通手段の確保など、市民が外出しやすい環境の整備を求める。

④ 大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算について

大船駅東口市街地再開発事業については、現在においても進展の見通しが立たない状況にあることから、現実的かつ早急な検討を行い、その方針について説明するよう求める。

6 本会議で採決

委員長報告の後、7会派の議員および2名の無所属議員から、討論として、各議案に対する賛否の意見が表明されました。

その後、採決を行った結果、一般会計予算ならびに大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業および下水道事業の4特別会計予算、さらに3件の条例議案は多数の賛成により可決、公共用地先行取得事業および介護保険事業の2特別会計予算ならびに6件の条例議案は総員の賛成により可決しました。

